

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本食品化工株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 100-0005 東京等千代田区丸の内1-6-5
----	---------------------------	----	--

本票作成 部署名：水島工場 生産技術課 環境技術係

主たる業種	分類コード	09	業種名：食品品製造業
-------	-------	----	------------

事業の概要	ぶどう糖・水あめ・異性化糖製造業、従業員約80名
-------	--------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島工場	倉敷市児島塩生2767-25

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	45,948 t CO ₂	47,940 t CO ₂	45,489 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29)年度排出量
	①	水島工場	47,940 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(29)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 4.3 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(29)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

基準年並みの排出量削減を狙うため、定期修理に合わせた長期間の計画停止により稼働日数削減を試みたが、前年比でCO₂排出量は抑えられたものの、低レート運転が続いたことも響き、基準年での削減には至らなかった。

【推進体制】

- ・推進委員長を中心としたエネルギー管理体制を整備し、省エネ推進委員会を工場で年2回、全社分を年1回開催した。
- ・ISO14001を取得済み

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	(平成29年度実施分) ・水銀灯の規制に向けた計画更新及び、常時点灯エリアの蛍光灯を優先的にLED化 (CO2削減量 39t/年) ・計装エア流量計を追加設置し、データ管理の環境を整備 (今後実施予定分) ・水銀灯は更新計画通り継続し、蛍光灯についても効果の高いエリアからLED化更新を進める ・圧縮空気について、エアリーク調査を行い量の把握及び補修計画を作成

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	バイオマス燃料の有効活用として、県外から複数種類の燃料を調達し受入を推進。
その他	無	

【その他特記事項】

現状よりもCO2排出係数の低い電気事業者と詳細交渉を進めています。